

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-201093  
(43)Date of publication of application : 16.07.2002

(51)Int.Cl.

C30B 29/06  
H01L 21/208  
H01L 21/66

(21)Application number : 2000-403127  
(22)Date of filing : 28.12.2000

(71)Applicant : SHIN ETSU HANDOTAI CO LTD  
(72)Inventor : SAKURADA MASAHIRO  
KOBAYASHI TAKESHI  
MORI TATSUO  
FUSEGAWA IZUMI  
OTA TOMOHIKO

## (54) METHOD OF MANUFACTURING SILICON SINGLE CRYSTAL

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To manufacture a silicon single crystal wafer with the CZ method under stable condition which is capable of improving in electric performance such as oxidation high withstand voltage surely without belonging to a hole rich V region, an OSF region, and a between lattice silicon rich I region.

**SOLUTION:** The method of manufacturing silicon single crystal wafer and silicon single crystal are characterized in that in the silicon single crystal water grown by the Czochralski method, in N region out side of OSF ring generated in ring state at the time of heat oxidizing process for all surfaces of the wafer, no defective region is existing which is to be detected by Cu deposition.

### LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 25.04.2003  
[Date of sending the examiner's decision of rejection]  
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]  
[Date of final disposal for application]  
[Patent number]  
[Date of registration]  
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]  
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]  
[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2002-201093  
(P2002-201093A)

(43) 公開日 平成14年7月16日 (2002.7.16)

(51) Int.Cl.  
C 30 B 29/06  
H 01 L 21/208  
21/66

識別記号  
502

F I  
C 30 B 29/06  
H 01 L 21/208  
21/66

502 J 4G077  
P 4M106  
N 5F053

マーク (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 7 OL (全 11 頁)

(21) 出願番号

特願2000-403127(P2000-403127)

(22) 出願日

平成12年12月28日 (2000.12.28)

(71) 出願人 000190149

信越半導体株式会社

東京都千代田区丸の内1丁目4番2号

(72) 発明者 桜田 昌弘

福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平  
150番地 信越半導体株式会社半導体白河  
研究所内

(72) 発明者 小林 武史

福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平  
150番地 信越半導体株式会社半導体白河  
研究所内

(74) 代理人 100102532

弁理士 好宮 幹夫

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 シリコン単結晶ウエーハおよびシリコン単結晶の製造方法

(57) 【要約】

【課題】 空孔リッチのV領域、OSF領域、そして格子間シリコンリッチのI域のいずれにも属さず、かつ確実に酸化膜耐圧等の電気特性を向上させることができるCZ法によるシリコン単結晶ウエーハを安定した製造条件下に製造する。

【解決手段】 チョクラルスキー法により育成されたシリコン単結晶ウエーハにおいて、ウエーハ全面が熱酸化処理をした際にリング状に発生するOSFの外側のN領域であって、Cuデポジションにより検出される欠陥領域が存在しないものであることを特徴とするシリコン単結晶ウエーハ及びシリコン単結晶の製造方法。

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 チョクラルスキー法により育成されたシリコン単結晶ウエーハにおいて、ウエーハ全面が熱酸化処理をした際にリング状に発生するOSFの外側のN領域であって、Cuデポジションにより検出される欠陥領域が存在しないものであることを特徴とするシリコン単結晶ウエーハ。

【請求項2】 チョ克拉ルスキー法により育成されたシリコン単結晶ウエーハにおいて、ウエーハ全面が熱酸化処理をした際にリング状に発生するOSFの外側のN領域であって、Cuデポジションにより検出される欠陥領域および酸素析出が生じにくいNi領域がウエーハ全面内に存在しないものであることを特徴とするシリコン単結晶ウエーハ。

【請求項3】 チョクラルスキー法によりシリコン単結晶を育成する場合において、育成されたシリコン単結晶ウエーハに熱酸化処理をした際にリング状に発生するOSFの外側のN領域であって、Cuデポジションにより検出される欠陥領域が存在しない無欠陥領域内で結晶を成長させることを特徴とするシリコン単結晶の製造方法。

【請求項4】 チョクラルスキー法によりシリコン単結晶を育成する場合において、引上げ中のシリコン単結晶の成長速度を漸減した場合、OSFリング消滅後に残存するCuデポジションにより検出される欠陥領域が消滅する境界の成長速度と、さらに成長速度を漸減した場合に格子間転移ループが発生する境界の成長速度との間の成長速度に制御して結晶を育成することを特徴とするシリコン単結晶の製造方法。

【請求項5】 チョクラルスキー法によりシリコン単結晶を育成する場合において、育成されたシリコン単結晶ウエーハに熱酸化処理をした際にリング状に発生するOSFの外側のN領域であって、Cuデポジションにより検出される欠陥領域および酸素析出が生じにくいNi領域が存在しない領域内で結晶を成長させることを特徴とするシリコン単結晶の製造方法。

【請求項6】 チョ克拉ルスキー法によりシリコン単結晶を育成する場合において、引上げ中のシリコン単結晶の成長速度を漸減した場合、OSFリング消滅後に残存するCuデポジションにより検出される欠陥領域が消滅する境界の成長速度と、さらに成長速度を漸減した場合に酸素析出が生じにくいNi領域が発生する境界の成長速度との間の成長速度に制御して結晶を育成することを特徴とするシリコン単結晶の製造方法。

【請求項7】 前記結晶成長時の引上げ速度を0.5mm/m in以上とすることを特徴とする請求項3ないし請求項6のいずれか1項に記載したシリコン単結晶の製造方法。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、後述するようなV領域、OSF領域およびI領域のいずれの欠陥領域でもなく、さらに銅デポジション処理により検出される酸化膜欠陥も形成されない、高耐圧で優れた電気特性をもつシリコン単結晶ウエーハ及びシリコン単結晶の製造方法に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 近年は、半導体回路の高集積化に伴う素子の微細化に伴い、その基板となるチョクラルスキー法(以下、CZ法と略記する)で作製されたシリコン単結晶に対する品質要求が高まってきている。特に、FPD、LSTD、COP等のグローンイン(Grown-in)欠陥と呼ばれる酸化膜耐圧特性やデバイスの特性を悪化させる、単結晶成長起因の欠陥が存在しその密度とサイズの低減が重要視されている。

【0003】 これらの欠陥を説明するに当たって、先ず、シリコン単結晶に取り込まれるベイカンシィ(Vacancy、以下Vと略記することがある)と呼ばれる空孔型の点欠陥と、インターミスティシャルシリコン(Interstitial-Si、以下Iと略記することがある)と呼ばれる格子間型シリコン点欠陥のそれぞれの取り込まれる濃度を決定する因子について、一般的に知られていることを説明する。

【0004】 シリコン単結晶において、V領域とは、Vacancy、つまりシリコン原子の不足から発生する凹部、穴のようなものが多い領域であり、I領域とは、シリコン原子が余分に存在することにより発生する転位や余分なシリコン原子の塊が多い領域のことであり、そしてV領域とI領域の間には、原子の不足や余分がない(少ない)ニュートラル(Neutral、以下Nと略記することがある)領域が存在していることになる。そして、前記グローンイン欠陥(FPD、LSTD、COP等)というのは、あくまでもVやIが過飽和な状態の時に発生するものであり、多少の原子の偏りがあるても、飽和以下であれば、欠陥としては存在しないことが判ってきた。

【0005】 この両点欠陥の濃度は、CZ法における結晶の引上げ速度(成長速度)と結晶中の固液界面近傍の温度勾配Gとの関係から決まり、V領域とI領域との境界近辺にはOSF(酸化誘起積層欠陥、Oxidation Induced Stacking Fault)と呼ばれる欠陥が、結晶成長軸に対する垂直方向の断面で見た時に、リング状に分布(以下、OSFリングということがある)していることが確認されている。

【0006】 これら結晶成長起因の欠陥は、通常の結晶中固液界面近傍の温度勾配Gが大きい炉内構造(ホットゾーン:HZということがある)を使用したCZ引上げ機で結晶軸方向に成長速度を高速から低速に変化させた場合、図7に示したような欠陥分布図として得られる。

【0007】 そしてこれら結晶成長起因の欠陥を分類す

ると、例えば成長速度が $0.6 \text{ mm/min}$ 前後以上と比較的高速の場合には、空孔タイプの点欠陥が集合したポイド起因とされているF P D、L S T D、C O P等のグローンイン欠陥が結晶径方向全域に高密度に存在し、これら欠陥が存在する領域はV領域と呼ばれている(図7のライン(A))。また、成長速度が $0.6 \text{ mm/min}$ 以下の場合は、成長速度の低下に伴い、O S Fリングが結晶の周辺から発生し、このリングの外側に転位ループ起因と考えられているL/D(Large Dislocation:格子間転位ループの略号、L S E P D、L F P D等)の欠陥が低密度に存在し、これら欠陥が存在する領域はI領域(L/D領域ということがある)と呼ばれている。さらに、成長速度を $0.4 \text{ mm/min}$ 前後以下と低速にすると、O S Fリングがウエーハの中心に凝集して消滅し、全面がI領域となる(図7のライン(c))。

[0008]また、近年V領域とI領域の中間でO S Fリングの外側に、N領域と呼ばれる、空孔起因のF P D、L S T D、C O Pも、転位ループ起因のL S E P D、L F P Dも存在しない領域の存在が発見されている。この領域はO S Fリングの外側にあり、そして、酸素析出熱処理を施し、X-ray観察等で析出のコントラストを確認した場合に、酸素析出がほとんどなく、かつ、L S E P D、L F P Dが形成されるほどリッチではないI領域側であると報告されている(図7のライン(B))。

[0009]これらのN領域は、通常の方法では、成長速度を下げた時に成長軸方向に対して斜めに存在するため、ウエーハ面内では一部分にしか存在しなかった。このN領域について、ボロンコフ理論(V. V. Voronkov; Journal of Crystal Growth, 59 (1982) 625~643)では、引上げ速度(V)と結晶固液界面軸方向温度勾配(G)の比であるV/Gというパラメータが点欠陥のトータルな濃度を決定すると唱えている。このことから考えると、面内で引上げ速度は一定のはずであるから、面内でGが分布を持つために、例えば、ある引上げ速度では中心がV領域でN領域を挟んで周辺でI領域となるような結晶しか得られなかった。

[0010]そこで最近、面内のGの分布を改良して、この斜めでしか存在しなかったN領域を、例えば、引上げ速度Fを徐々に下げながら引上げた時に、ある引上げ速度でN領域が横全面に広がった結晶が製造できるようになった。また、この全面N領域の結晶を長さ方向へ拡大するには、このN領域が横に広がった時の引上げ速度を維持して引上げればある程度達成できる。また、結晶が成長するに従ってGが変化することを考慮し、それを補正して、あくまでもV/Gが一定になるように、引上げ速度を調節すれば、それなりに成長方向にも、全面N領域となる結晶が拡大できるようになった。

[0011]このN領域をさらに分類すると、O S Fリングの外側に隣接するNv領域(空孔の多い領域)とI領域に隣接するNi領域(格子間シリコンが多い領域)とがあり、Nv領域では、熱酸化処理した際に酸素析出量が多く、Ni領域では酸素析出が殆ど無いことがわかっている。

[0012]ところが上記のように、全面N領域であり、熱酸化処理した際にO S Fリングを発生せず、かつ全面にF P D、L/Dが存在しない単結晶であるにもかかわらず酸化膜欠陥が著しく発生する場合があることがわかった。そして、これが酸化膜耐圧特性のような電気特性を劣化させる原因となっており、従来の全面がN領域であるというだけでは不十分であり、さらなる改善が望まれていた。

### [0013]

【発明が解決しようとする課題】そこで本発明は、このような問題点に鑑みてなされたもので、空孔リッヂのV領域、O S F領域、そして格子間シリコンリッヂのI領域のいずれにも属さず、かつ確実に酸化膜耐圧等の電気特性を向上させることができるC Z法によるシリコン単結晶ウエーハを安定した製造条件下に得ることを目的とする。

### [0014]

【課題を解決するための手段】本発明は、前記目的を達成するために為されたもので、本発明に係るシリコン単結晶ウエーハは、チョクラルスキー法により育成されたシリコン単結晶ウエーハにおいて、ウエーハ全面が熱酸化処理をした際にリング状に発生するO S Fの外側のN領域であって、Cuデポジションにより検出される欠陥領域が存在しないものであることを特徴としている(請求項1)。

[0015]このように、本発明のシリコン単結晶ウエーハは、ウエーハ全面が熱酸化処理をした際にリング状に発生するO S Fの外側のN領域であって、特にCuデポジションにより検出される欠陥領域が存在しない無欠陥ウエーハであり、デバイスを作製しても酸化膜耐圧特性等の電気特性を劣化させることのない高品質のシリコンウエーハとなる。

[0016]そして、本発明の第2の態様であるシリコン単結晶ウエーハは、チョクラルスキー法により育成されたシリコン単結晶ウエーハにおいて、ウエーハ全面が熱酸化処理をした際にリング状に発生するO S Fの外側のN領域であって、Cuデポジションにより検出される欠陥領域および酸素析出が生じにくいNi領域がウエーハ全面内に存在しないものであることを特徴としている(請求項2)。

[0017]このように、本発明のシリコン単結晶ウエーハは、ウエーハ全面が熱酸化処理をした際にリング状に発生するO S Fの外側のN領域であって、特にCuデポジションにより検出される欠陥領域および酸素析出が

生じにくいN<sub>i</sub>領域がウエーハ全面内に存在しない無欠陥ウエーハであり、デバイスを作製しても酸化膜耐圧特性等の電気特性を劣化させないとともに、ゲッタリング能力も高いものである。

【0018】次に本発明に係るシリコン単結晶の製造方法は、チョクラルスキー法によりシリコン単結晶を育成する場合において、育成されたシリコン単結晶ウエーハに熱酸化処理をした際にリング状に発生するOSFの外側のN領域であって、Cuデポジションにより検出される欠陥領域が存在しない無欠陥領域内で結晶を成長させることを特徴としている（請求項3）。

【0019】そして本発明に係るシリコン単結晶の製造方法は、チョ克拉ルスキー法によりシリコン単結晶を育成する場合において、引上げ中のシリコン単結晶の成長速度を漸減した場合、OSFリング消滅後に残存するCuデポジションにより検出される欠陥領域が消滅する境界の成長速度と、さらに成長速度を漸減した場合に格子間転移ループが発生する境界の成長速度との間の成長速度に制御して結晶を育成することを特徴としている（請求項4）。

【0020】これらの製造方法によれば、育成されたシリコン単結晶ウエーハに熱酸化処理をした際にリング状に発生するOSFの外側のN領域であって、特にCuデポジションにより検出される酸化膜耐圧等の電気特性を劣化させる欠陥領域が存在しない無欠陥シリコン単結晶ウエーハを製造することができる。

【0021】さらに本発明に係るシリコン単結晶の製造方法の第2の態様は、チョクラルスキー法によりシリコン単結晶を育成する場合において、育成されたシリコン単結晶ウエーハに熱酸化処理をした際にリング状に発生するOSFの外側のN領域であって、Cuデポジションにより検出される欠陥領域および酸素析出が生じにくいN<sub>i</sub>領域が存在しない領域内で結晶を成長させることを特徴としている（請求項5）。

【0022】加えて、本発明に係るシリコン単結晶の製造方法は、チョクラルスキー法によりシリコン単結晶を育成する場合において、引上げ中のシリコン単結晶の成長速度を漸減した場合、OSFリング消滅後に残存するCuデポジションにより検出される欠陥領域が消滅する境界の成長速度と、さらに成長速度を漸減した場合に酸素析出が生じにくいN<sub>i</sub>領域が発生する境界の成長速度との間の成長速度に制御して結晶を育成することを特徴としている（請求項6）。

【0023】これらの製造方法によれば、ウエーハ全面が熱酸化処理をした際にリング状に発生するOSFの外側のN領域であって、Cuデポジションにより検出される欠陥領域および酸素析出が生じにくいN<sub>i</sub>領域がウエーハ全面内に存在しない無欠陥シリコン単結晶ウエーハを製造することができる。従って、酸化膜耐圧およびゲッタリング能力とともに良好な結晶を得ることができる。

【0024】これらの製造方法において、結晶成長時の引上げ速度を0.5mm/min以上とすることが好ましい（請求項7）。このように、結晶成長時の引上げ速度を0.5mm/min以上とすれば、本発明の無欠陥領域、特に酸素析出物層が形成される領域の製造マージンが拡大し、安定供給が可能になる。

【0025】以下、本発明につき詳細に説明するが、本発明はこれらに限定されるものではない。説明に先立ち各用語につき予め解説しておく。

10 1) FPD (Flow Pattern Defect) とは、成長後のシリコン単結晶棒からウエーハを切り出し、表面の歪み層を弗酸と硝酸の混合液でエッチングして取り除いた後、K, Cr, O, と弗酸と水の混合液で表面をエッチング (Seccoエッチング) することによりピットおよびさざ波模様が生じる。このさざ波模様をFPDと称し、ウエーハ面内のFPD密度が高いほど酸化膜耐圧の不良が増える（特開平4-192345号公報参照）。

20 2) SEPD (Secco Etch Pattern Defect) とは、FPDと同一のSeccoエッチングを施した時に、流れ模様 (flow pattern) を伴うものをFPDと呼び、流れ模様を伴わないものをSEPDと呼ぶ。この中で10μm以上の大きいSEPD (LSEPD) は転位クラスターに起因すると考えられ、デバイスに転位クラスターが存在する場合、この転位を通じて電流がリーカし、P-Nジャンクションとしての機能を果たさなくなる。

30 3) LSTD (Laser Scattering Tomography Defect) とは、成長後のシリコン単結晶棒からウエーハを切り出し、表面の歪み層を弗酸と硝酸の混合液でエッチングして取り除いた後、ウエーハを劈開する。この劈開面より赤外光を入射し、ウエーハ表面から出た光を検出することでウエーハ内に存在する欠陥による散乱光を検出することができる。ここで観察される散乱体については学会等すでに報告があり、酸素析出物とみなされている (Jpn. J. Appl. Phys. Vol. 32, P3679, 1993参照)。また、最近の研究では、八面体のボイド (穴) であるという結果も報告されている。

40 4) COP (Crystal Originated Particle) とは、ウエーハの中心部の酸化膜耐圧を劣化させる原因となる欠陥で、SeccoエッチではFPDになる欠陥が、SC-1洗浄 (NH<sub>4</sub>OH : H<sub>2</sub>O<sub>2</sub> : H<sub>2</sub>O = 1 : 1 : 10の混合液による洗浄) では選択エッチング液として働き、COPになる。このピットの直径は1μm以下で光散乱法で調べる。

50 5) L/D (Large Dislocation: 格子間転位ループの略号) には、LSEP

D、LFPD等があり、転位ループ起因と考えられている欠陥である。LSEPDは、上記したようにSEPDの中でも $10\text{ }\mu\text{m}$ 以上の大きいものをいう。また、LFPDは、上記したFPDの中でも先端ピットの大きさが $10\text{ }\mu\text{m}$ 以上の大きいものをいい、こちらも転位ループ起因と考えられている。

【0030】6) Cuデポジション法は、半導体ウエーハの欠陥の位置を正確に測定し、半導体ウエーハの欠陥に対する検出限度を向上させ、より微細な欠陥に対しても正確に測定し、分析できるウエーハの評価法である。

【0031】具体的なウエーハの評価方法は、ウエーハ表面上に所定の厚さの絶縁膜を形成させ、前記ウエーハの表面近くに形成された欠陥部位上の絶縁膜を破壊して欠陥部位にCu等の電解物質を析出(デポジション)するものである。つまり、Cuデポジション法は、Cuイオンが溶存する液体の中で、ウエーハ表面に形成した酸化膜に電位を印加すると、酸化膜が劣化している部位に電流が流れ、CuイオンがCuとなって析出することを利用した評価法である。酸化膜が劣化し易い部分にはCOP等の欠陥が存在していることが知られている。

【0032】Cuデポジションされたウエーハの欠陥部位は、集光灯下や直接的に肉眼で分析してその分布や密度を評価することができ、さらに顕微鏡観察、透過電子顕微鏡(TEM)または走査電子顕微鏡(SEM)等でも確認することができる。

### 【0033】

【発明の実施の形態】本発明者らは、CZ法によるシリコン単結晶成長に関し、V領域とI領域の境界近辺について、詳細に調査したところ、V領域とI領域の中間でOSFリングの外側に、FPD、LSTD、COPの数が著しく少なく、L/Dも存在しないニュートラルなN領域を見出した。そして、このN領域をさらに分類すると、OSFリングの外側に隣接するNV領域(空孔の多い領域)とI領域に隣接するNi領域(格子間シリコンが多い領域)とがあり、NV領域では、熱酸化処理した際に酸素析出量が多く、Ni領域では酸素析出が無いことがわかつてき。

【0034】ところが、上記N領域で結晶を育成しても、酸化膜耐圧が悪いものがあり、その原因がよく判つていなかった。そこで本発明者等は、Cuデポジション法によりN領域についてさらに詳細に調査したところ、OSF領域の外側のN領域であって、析出熱処理後酸素析出が発生し易いNV領域の一部にCuデポジション処理で検出される欠陥が著しく発生する領域があることを発見した。そして、これが酸化膜耐圧特性のような電気特性を劣化させる原因となっていることをつきとめた。

【0035】そこで、このOSFの外側のN領域であって、Cuデポジションにより検出される欠陥領域のない領域をウエーハ全面に広げることができれば、前記種々のグローンイン欠陥がないとともに、確実に酸化膜耐圧

特性等を向上することができるウエーハが得られることになる。

【0036】本発明者等は、以下の実験を行って成長速度と欠陥分布の関係を求め、その結果に基づいて単結晶棒を育成し、ウエーハの酸化膜耐圧特性を評価した。

(実験1) 図2(a)の装置Aおよび図2(b)の装置Bに示したMCZ法単結晶引上げ装置(横磁場印加)の内、装置Aは24インチ石英ルツボに原料多結晶シリコンを150kgチャージし、装置Bは26インチ石英ルツボに原料多結晶シリコンを160kgチャージし、各装置にて直径8インチ(直径200mm)、方位<100>のシリコン単結晶を引上げた。単結晶を引上げる際、成長速度を0.7mm/minから0.3mm/minの範囲で結晶頭部から尾部にかけて漸減させるよう制御した。またウエーハの酸素濃度が22~23ppma(ASTM'79値)となるように単結晶を作製した。

【0037】そして図3(a)、(b)に示したように、引上げた結晶の頭部から尾部にかけて結晶軸方向に縦割り切断し、4枚のウエーハサンプルを作製した。4枚中3枚はWLT(ウエーハライフタイム)測定(測定器: SEMILAB WT-85)およびセコエッティングによりV領域、OSF領域、I領域の各領域の分布状況とFPD、LEPの分布状況、そしてOSF熱処理によるOSF発生状況を調査し、各領域境界の成長速度を確認した。さらに結晶軸方向に縦割り切断したサンプルの内1枚は、図3(c)に示したように、直径6インチのウエーハ形状にくり抜き加工し、1枚は鏡面加工仕上げの上、ウエーハ表面に熱酸化膜を形成した後、Cuデポジション処理を施し、酸化膜欠陥の分布状況を確認した。

【0038】本実験におけるウエーハの評価手順および評価結果の詳細を以下に述べる。

(1) 引上げた単結晶棒を結晶軸方向10cm毎の長さにブロック切断後、縦結晶軸方向に縦割り切断し、約2mm厚さのサンプルを4枚作製した。

(2) 上記サンプルのうち1枚目は、ウエーハ熱処理炉内620°C、2時間、窒素雰囲気下において熱処理後、800°C、4時間(窒素雰囲気下)熱処理を施し、その後1000°C、16時間(ドライ酸素雰囲気下)熱処理後冷却し、SEMILAB-85によりウエーハライフタイム(WLT)のマップを作成した(図4(a)、(b)参照)。また2枚目はミラーエッティング後セコエッティングを施し、FPDおよびLEPの分布を観察した。そして3枚目はOSF熱処理後セコエッティングして酸化膜を除去し、OSFの分布状況を確認した。これらの結果からV領域、OSF領域、I領域の各領域を特定し、各境界の成長速度を調査した。

【0039】装置A(図2(a))で引上げた単結晶の各境界の成長速度(図4(a)参照)は、次のようにな

20

30

40

40

った。

V領域／OSF領域境界：	0.484 mm/min.
OSF消滅境界：	0.472 mm/min.
Cuデポジション欠陥消滅境界：	0.467 mm/min.
非析出N(Ni)領域／I領域境界：	0.454 mm/min.

【0040】装置B(図2(b))で引上げた単結晶の\*。

各境界の成長速度(図4(b)参照)は、次の通りであ\*

V領域／OSF領域境界：	0.596 mm/min.
OSF消滅境界：	0.587 mm/min.
Cuデポジション欠陥消滅境界：	0.566 mm/min.
析出N(Nv)領域／Ni領域境界：	0.526 mm/min.
Ni領域／I領域境界：	0.510 mm/min.

【0041】(3)上記(1)の単結晶棒の結晶軸方向に縦割り切断したサンプルの内残り1枚を直径6インチのウェーハ形状にくり抜き加工(図3(c)参照)し、鏡面加工仕上げの上、ウェーハ表面に熱酸化膜形成後Cuデポジション処理を施し、酸化膜欠陥の分布状況を確認した。評価条件は次のとおりである。

- 1) 酸化膜：25 nm、
- 2) 電解強度：6 MV/cm、
- 3) 電圧印加時間：5分間。

【0042】図5にCuデポジションによりNv領域を評価した結果図を示す。図5(a)はCuデポジションにより発生した欠陥領域の欠陥分布を、(b)はCuデポジションによる欠陥のないNv領域の欠陥分布を示す。図6(a)は、Cuデポジションで欠陥が発生したNv領域の評価結果であり、(b)は、Cuデポジションにより欠陥が発生しなかったNv領域の評価結果である。

【0043】以上の結果から、OSF外側に存在するN領域の内、酸素析出が生じ易いNv領域中に、酸化膜欠陥の生じ易いCuデポジションにより検出される欠陥領域が存在することが判る。この領域では、Nv領域であるにもかかわらず、酸化膜耐圧が必ずしも良くない。一方、同じNv領域でも、このCuデポジションにより検出される欠陥領域のないNv領域では酸化膜耐圧が満足できる結果となることが判る。

【0044】(実験2)次に上記結果を踏まえて装置B(図2(b))を用いてOSF外側のN領域であって、Cuデポジション欠陥領域(Dn領域)でない領域およびさらに酸素析出が生じにくいNi領域も含まない領域が狙えるように成長速度を制御し、引上げた結晶から鏡面仕上げのウェーハに加工し、酸化膜耐圧特性の評価を行った。なお、C-モード測定条件は次のとおりである。

- 1) 酸化膜：25 nm、
- 2) 測定電極：リン・ドープ・ポリシリコン、
- 3) 電極面積： $8 \text{ mm}^2$ 、
- 4) 判定電流： $1 \text{ mA}/\text{cm}^2$ 。

その結果、酸化膜耐圧レベルは100%の良品率であっ

た。

【0045】本発明者等は、以上の実験で得られた知見を踏まえた上で鋭意検討を重ね、本発明に想到したものである。本発明の第1のシリコン単結晶の製造方法は、育成されたシリコン単結晶ウェーハに熱酸化処理をした際にリング状に発生するOSFの外側のN領域であって、Cuデポジションにより検出される欠陥領域が存在しない無欠陥領域内で結晶を成長させることを特徴としている。

【0046】この方法を図1に基づいて説明すると、引上げ中のシリコン単結晶の成長速度を漸減した場合、OSFリング消滅後に残存するCuデポジションにより検出される欠陥領域が消滅する境界の成長速度と、さらに成長速度を漸減した場合に格子間転移ループが発生する境界の成長速度との間の成長速度に制御して結晶を育成することになる。

【0047】以上述べた方法により育成された単結晶棒から切り出されたウェーハは、ウェーハ全面が熱酸化処理をした際にリング状に発生するOSFの外側のN領域であって、Cuデポジションにより検出される欠陥領域が全く存在しない無欠陥シリコン単結晶ウェーハとなる。

【0048】次に、第2の製造方法は、育成されたシリコン単結晶ウェーハに熱酸化処理をした際にリング状に発生するOSFの外側のN領域であって、Cuデポジションにより検出される欠陥領域および酸素析出が生じにくいNi領域が存在しない領域内で結晶を成長させることを特徴としている。

【0049】この方法を図1に基づいて説明すると、引上げ中のシリコン単結晶の成長速度を漸減した場合、OSFリング消滅後に残存するCuデポジションにより検出される欠陥領域が消滅する境界の成長速度と、さらに成長速度を漸減した場合に酸素析出が生じにくいNi領域が発生する境界の成長速度との間の成長速度に制御して結晶を育成することになる。

【0050】この製造方法により育成された単結晶棒から作製されたウェーハは、ウェーハ全面が熱酸化処理をした際にリング状に発生するOSFの外側のN領域であ

って、Cuデポジションにより検出される欠陥領域および酸素析出が生じにくいNi領域がウエーハ全面内に存在しない無欠陥シリコン単結晶ウエーハとすることができる。

【0051】このウエーハは、酸素析出が生じにくいNi領域を含まず、全てNv領域であるので、無欠陥領域中に窒素およびドライ酸素雰囲気下に熱処理した際、酸素析出物層がバルク中に形成される。従って、この領域から作製したシリコン単結晶ウエーハは、酸化膜耐圧等が良好であるのみならず、優れたゲッタリング能力を持つ。

【0052】さらに本発明品を作製する際、原料となるシリコン単結晶を0.5mm/min以上の成長速度で引上げ可能な急冷構造のCZ引上げ装置を使用すれば、本発明の無欠陥領域、特に酸素析出物層が形成される領域(Nv-Dn)の方がより拡大し、製造上安定性を維持することができた。

【0053】そして結晶中心部での結晶固液界面の軸方向温度勾配Gcが小さく、本発明の無欠陥領域製造の際、0.5mm/minの成長速度が超えられないCZ法引上げ装置の場合、本発明品の成長速度マージンは0.02mm/minを下回るため、容易に量産できなかつたが、Gcが大きく、本発明の無欠陥領域製造の際、0.5mm/min以上の成長速度が達成できるCZ法引上げ装置の場合、本発明品の成長速度マージンは0.02mm/min以上であり、最大約0.05mm/minを達成することができた。特に上記のように0.5mm/min以上の成長速度で本発明品を製造した場合、窒素およびドライ酸素雰囲気中の熱処理後に酸素析出物層がバルク中に形成される領域の成長速度マージンの方が容易に拡大できることがわかった。

【0054】最後に本発明で使用したCZ法による単結晶引上げ装置の構成例を図2(a)(b)により説明する。図2(a)に示すように、この単結晶引上げ装置30は、引上げ室31と、引上げ室31中に設けられたルツボ32と、ルツボ32の周囲に配置されたヒータ34と、ルツボ32を回転させるルツボ保持軸33及びその回転機構(図示せず)と、シリコンの種結晶を保持するシードチャック6と、シードチャック6を引上げるワイヤ7と、ワイヤ7を回転又は巻き取る巻取機構(図示せず)を備えて構成されている。ルツボ32は、その内側のシリコン融液(湯)2を収容する側には石英ルツボが設けられ、その外側には黒鉛ルツボが設けられている。また、ヒータ34の外側周囲には断熱材35が配置されている。

【0055】また、本発明の製造方法に関する製造条件を設定するために、環状の黒鉛筒(遮熱板)9を設けている。また、図2(b)に示したものは、結晶の固液界面4の外周に環状の外側断熱材10を設けている。この外側断熱材10は、その下端とシリコン融液2の湯面3

との間に2~20cmの間隔を設けて設置されている。さらに、冷却ガスを吹き付けたり、輻射熱を遮って単結晶を冷却する筒状の冷却装置を設けることもある。別に、最近では引上げ室31の水平方向の外側に、図示しない磁石を設置し、シリコン融液2に水平方向あるいは垂直方向等の磁場を印加することによって、融液の対流を抑制し、単結晶の安定成長をはかる、いわゆるMCZ法が用いられることが多い。

【0056】次に、上記の単結晶引上げ装置30による単結晶育成方法について説明する。まず、ルツボ32内でシリコンの高純度多結晶原料を融点(約1420°C)以上に加熱して融解する。次に、ワイヤ7を巻き出すことにより融液2の表面略中心部に種結晶の先端を接触又は浸漬させる。その後、ルツボ保持軸33を適宜の方向に回転させるとともに、ワイヤ7を回転させながら巻き取り種結晶を引上げることにより、単結晶育成が開始される。以後、引上げ速度と温度を適切に調節することにより略円柱形状の単結晶棒1を得ることができる。

【0057】この場合、本発明では、本発明の目的を達成するために特に重要であるのは、図2(a)または図2(b)に示したように、引上げ室31の湯面上の単結晶棒1中の液状部分の外周空間において、湯面近傍の結晶の融点から1400°Cまでの温度域が制御できるよう環状の黒鉛筒(遮熱板)9や外側断熱材10を設けたことである。

【0058】すなわち、この炉内温度を制御するためには、例えば図2(b)に示したように、引上げ室31内に外側断熱材10を設け、この下端と融液表面との間隔を2~20cmに設定すればよい。こうすれば、結晶中心部分の温度勾配Gc[°C/cm]と結晶周辺部分の温度勾配Geとの差が小さくなり、例えば結晶周辺の温度勾配の方が結晶中心より低くなるように炉内温度を制御することもできる。この外側断熱材10は黒鉛筒12の外側にあり、黒鉛筒12の内側にも断熱筒11を設けている。また、黒鉛筒12の上は金属筒13につながり、その上には冷却筒14があって冷却媒体を流して強制冷却している。

【0059】以上述べたシリコン単結晶の製造方法で製造されたシリコン単結晶をスライスして得られるシリコン単結晶ウエーハは、ウエーハに熱酸化処理をした際に、リング状に発生するOSFの外側のN領域であつて、Cuデポジションにより検出される欠陥領域が存在しない無欠陥ウエーハである。あるいはウエーハ全面が熱酸化処理をした際にリング状に発生するOSFの外側のN領域であつて、Cuデポジションにより検出される欠陥領域および酸素析出が生じにくいNi領域がウエーハ全面内に存在しない無欠陥ウエーハである。

【0060】なお、本発明は、上記実施形態に限定されるものではない。上記実施形態は、例示であり、本発明の特許請求の範囲に記載された技術的思想と実質的に同

13

一な構成を有し、同様な作用効果を奏するものは、いかなるものであっても本発明の技術的範囲に包含される。

【0061】例えば、上記実施形態においては、直径8インチのシリコン単結晶を育成する場合につき例を挙げて説明したが、本発明はこれには限定されず、直径10～16インチあるいはそれ以上のシリコン単結晶にも適用できる。また、本発明は、シリコン融液に水平磁場、縦磁場、カスプ磁場等を印加するいわゆるMCZ法にも適用できることは言うまでもない。

【0062】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、V領域、OSF領域およびI領域のいずれの欠陥領域でもなく、さらにCuデポジション処理により検出される酸化膜欠陥も形成されない、高耐圧で優れた電気特性をもつシリコン単結晶ウエーハを安定的に供給することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の成長速度と結晶欠陥分布の関係を表す説明図である。

【図2】本発明で使用した単結晶引上げ装置の概略図である。

(a) 装置A、(b) 装置B。

【図3】(a) 単結晶成長速度と結晶切断位置の関係を示す関係図である。

(b) 各引上げ装置のOSFシュリンク速度を示す説明図である。

14

\* (c) Cuデポジション評価試料の作製方法を示す説明図である。

【図4】本発明で使用した単結晶引上げ装置で育成した単結晶の結晶軸方向のWL Tマップである。

(a) 装置A、(b) 装置B。

【図5】CuデポジションによりNV領域における欠陥分布を観察した結果図である。

(a) Cuデポジション領域、(b) 欠陥のないNV領域。

10 【図6】NV領域内の酸化膜耐圧レベルを測定した結果図である。

(a) Cuデポジションにより欠陥発生領域、(b) 欠陥が発生しなかったNV領域。

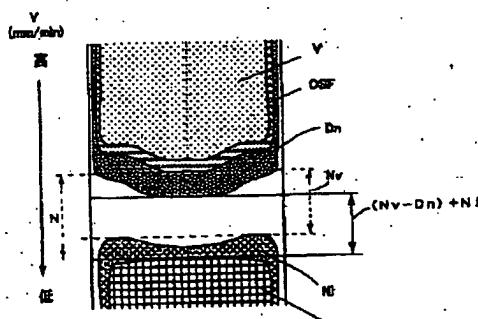
【図7】従来の技術による成長速度と結晶の欠陥分布を示す説明図である。

【符号の説明】

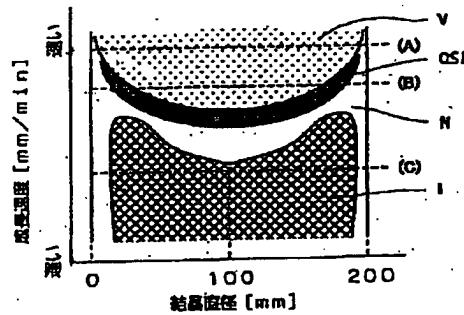
1…成長単結晶棒、2…シリコン融液、3…湯面、4…固液界面、6…シードチャック、7…ワイヤ、9…黒鉛筒、10…外側断熱材、11…内側断熱筒、12…黒鉛筒、13…金属筒、14…冷却筒、30…単結晶引上げ装置、31…引上げ室、32…ルツボ、33…ルツボ保持軸、34…ヒータ、35…断熱材。V…V領域、N…N領域、OSF…OSFリング及びOSF領域、I…I領域、NV…NV領域、Ni…Ni領域、Dn…Cuデポジション欠陥領域。

\*

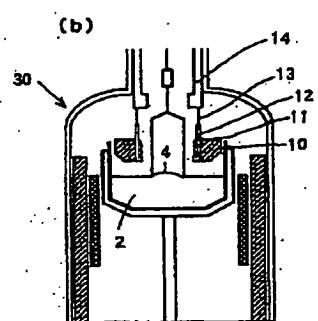
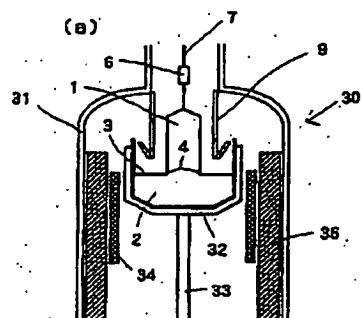
【図1】



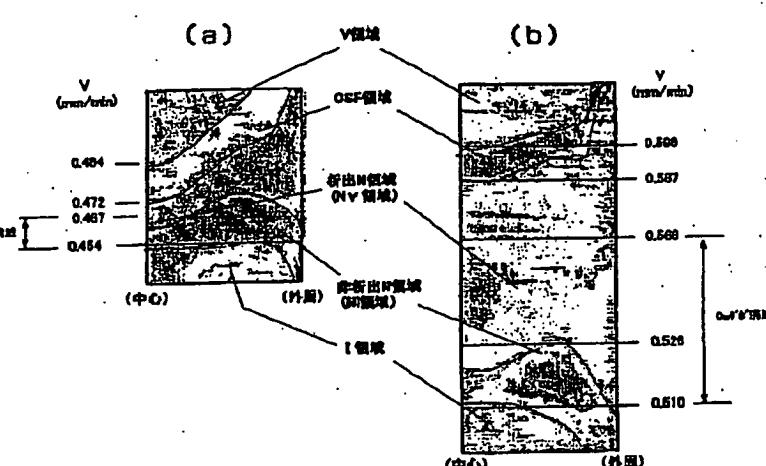
【図7】



【図2】

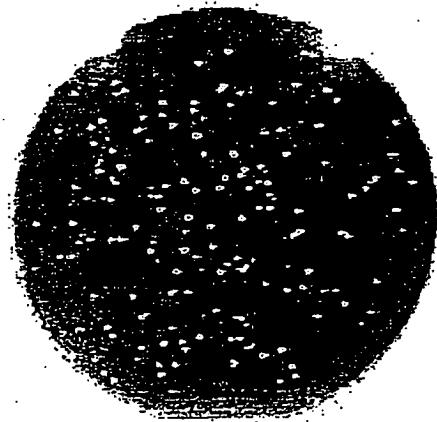


【図4】

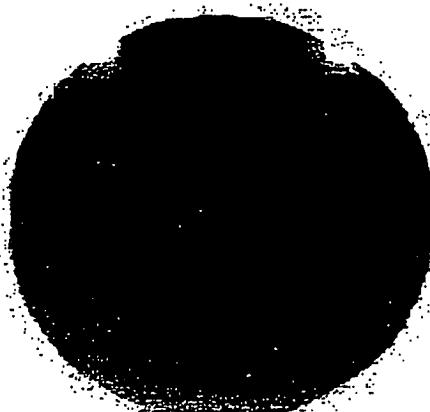


【図5】

(a)

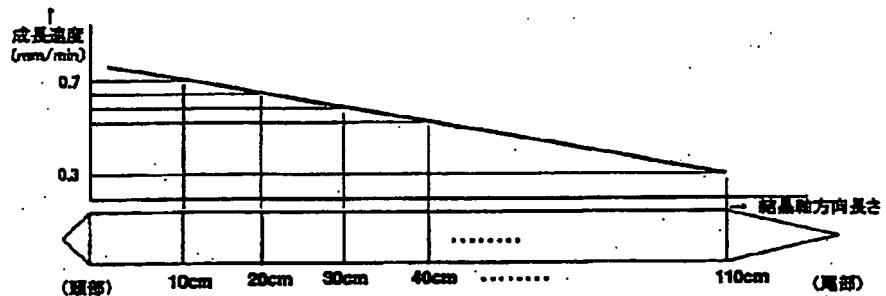


(b)

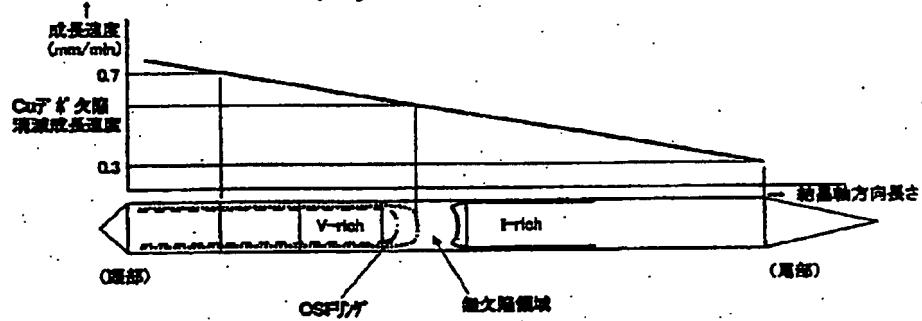


【図3】

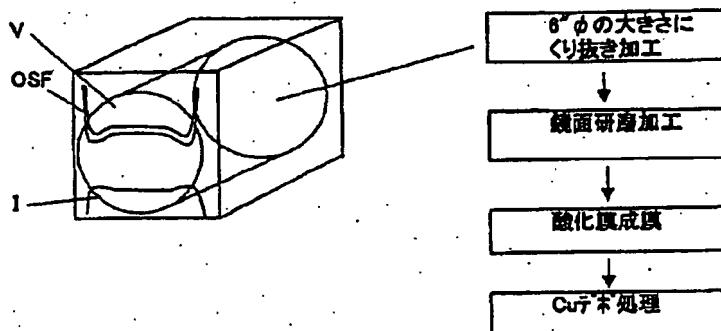
(a)



(b)

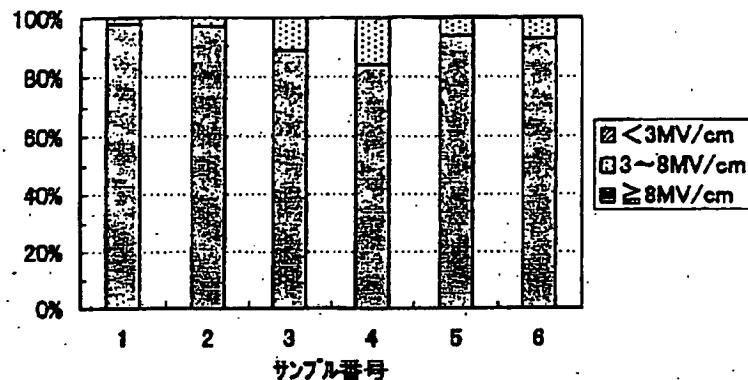


(c)

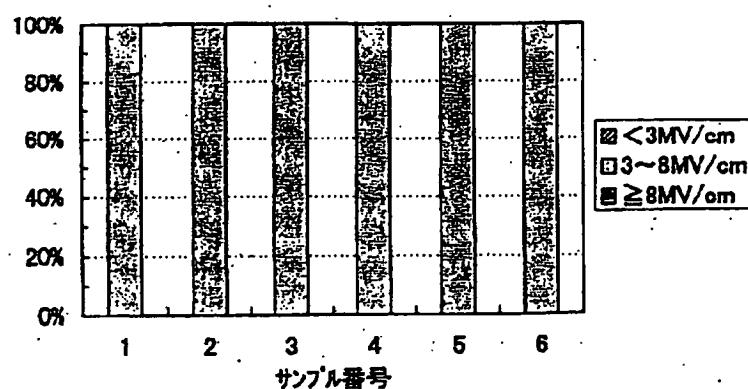


【図6】

(a)



(b)



## フロントページの続き

(72)発明者 森 達生

福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平  
150番地 信越半導体株式会社半導体白河  
研究所内

(72)発明者 布施川 泉

福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平  
150番地 信越半導体株式会社半導体白河  
研究所内

(72)発明者 太田 友彦

福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平  
150番地 信越半導体株式会社半導体白河  
研究所内

F ターム(参考) 4G077 AA02 BA04 CF10 EH09 FE04

HA12

4M106 AA01 AB20 BA05 BA10 BA20

CB19 DB18

SF053 AA12 AA21 DD01 GG01 PP20

RR03

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成15年7月30日(2003.7.30)

【公開番号】特開2002-201093(P2002-201093A)

【公開日】平成14年7月16日(2002.7.16)

【年通号数】公開特許公報14-2011

【出願番号】特願2000-403127(P2000-403127)

【国際特許分類第7版】

C30B 29/06 502

H01L 21/208

21/66

【F I】

C30B 29/06 502 J

H01L 21/208 P

21/66 N

【手続補正書】

【提出日】平成15年4月25日(2003.4.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項4

【補正方法】変更

【補正内容】

【請求項4】 チョクラルスキー法によりシリコン単結晶を育成する場合において、引上げ中のシリコン単結晶の成長速度を漸減した場合、OSFリング消滅後に残存するCuデポジションにより検出される欠陥領域が消滅する境界の成長速度と、さらに成長速度を漸減した場合に格子間転位ループが発生する境界の成長速度との間の成長速度に制御して結晶を育成することを特徴とするシリコン単結晶の製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正内容】

【0010】そこで最近、面内のGの分布を改良して、この斜めでしか存在しなかったN領域を、例えば、引上げ速度Vを徐々に下げながら引上げた時に、ある引上げ速度でN領域が横全面に広がった結晶が製造できるようになった。また、この全面N領域の結晶を長さ方向へ拡大するには、このN領域が横に広がった時の引上げ速度を維持して引上げればある程度達成できる。また、結晶が成長するに従ってGが変化することを考慮し、それを補正して、あくまでもV/Gが一定になるように、引上げ速度を調節すれば、それなりに成長方向にも、全面N領域となる結晶が拡大できるようになった。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正内容】

【0019】そして本発明に係るシリコン単結晶の製造方法は、チョクラルスキー法によりシリコン単結晶を育成する場合において、引上げ中のシリコン単結晶の成長速度を漸減した場合、OSFリング消滅後に残存するCuデポジションにより検出される欠陥領域が消滅する境界の成長速度と、さらに成長速度を漸減した場合に格子間転位ループが発生する境界の成長速度との間の成長速度に制御して結晶を育成することを特徴としている(請求項4)。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正内容】

【0041】(3)上記(1)の単結晶棒の結晶軸方向に縦割り切断したサンプルの内残り1枚を直径6インチのウェーハ形状にくり抜き加工(図3(c)参照)し、鏡面加工仕上げの上、ウェーハ表面に熱酸化膜形成後Cuデポジション処理を施し、酸化膜欠陥の分布状況を確認した。

評価条件は次のとおりである。

1) 酸化膜: 25nm、2) 電界強度: 6MV/cm<sup>2</sup>

3) 電圧印加時間: 5分間。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正内容】

【0046】この方法を図1に基づいて説明すると、引上げ中のシリコン単結晶の成長速度を漸減した場合、OSFリング消滅後に残存するCuデポジションにより検

出される欠陥領域が消滅する境界の成長速度と、さらに成長速度を漸減した場合に格子間転位ループが発生する境界の成長速度との間の成長速度に制御して結晶を育成することになる。

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-201093

(43)Date of publication of application : 16.07.2002

---

(51)Int.Cl.

C30B 29/06  
H01L 21/208  
H01L 21/66

---

(21)Application number : 2000-403127

(71)Applicant : SHIN ETSU HANDOTAI CO LTD

(22)Date of filing : 28.12.2000

(72)Inventor : SAKURADA MASAHIRO  
KOBAYASHI TAKESHI  
MORI TATSUO  
FUSEGAWA IZUMI  
OTA TOMOHIKO

---

## (54) METHOD OF MANUFACTURING SILICON SINGLE CRYSTAL

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To manufacture a silicon single crystal wafer with the CZ method under stable condition which is capable of improving in electric performance such as oxidation high withstand voltage surely without belonging to a hole rich V region, an OSF region, and a between lattice silicon rich I region.

**SOLUTION:** The method of manufacturing silicon single crystal wafer and silicon single crystal are characterized in that in the silicon single crystal water grown by the Czochralski method, in N region out side of OSF ring generated in ring state at the time of heat oxidizing process for all surfaces of the wafer, no defective region is existing which is to be detected by Cu deposition.

---

### LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 25.04.2003

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

**\* NOTICES \***

JPO and NCIPPI are not responsible for any  
damages caused by the use of this translation.

- 1.This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
- 2.\*\*\*\* shows the word which can not be translated.
- 3.In the drawings, any words are not translated.

---

**CLAIMS**

---

**[Claim(s)]**

[Claim 1] The silicon single crystal wafer characterized by being that in which the defective field which is an N field of the outside of OSF generated in the shape of a ring in the silicon single crystal wafer raised by the Czochralski method when the whole wafer surface carries out thermal oxidation processing, and is detected by Cu deposition does not exist.

[Claim 2] The silicon single crystal wafer characterized by being N field of the outside of OSF generated in the shape of a ring in the silicon single crystal wafer raised by the Czochralski method when the whole wafer surface carries out thermal oxidation processing, and being that to which nickel field which the defective field and precipitation of oxygen which are detected by Cu deposition cannot produce easily does not exist in the whole wafer surface.

[Claim 3] The manufacture approach of the silicon single crystal characterized by growing up a crystal in the defect-free field where the defective field which is an N field of the outside of OSF generated in the shape of a ring when thermal oxidation processing is carried out to the silicon single crystal wafer raised when a silicon single crystal was raised with the Czochralski method, and is detected by Cu deposition does not exist.

[Claim 4] The manufacture approach of the silicon single crystal characterized by to control to the growth rate between the growth rate of the boundary where the defective field detected by Cu deposition which remains after OSF ring disappearance when a silicon single crystal is raised with the Czochralski method and the growth rate of the silicon single crystal under pull-up is dwindled disappears, and the growth rate of the boundary which a grids transition loop formation generates when a growth rate is dwindled further, and to raise a crystal.

[Claim 5] The manufacture approach of the silicon single crystal characterized by growing up a crystal in the field where nickel field which the defective field and precipitation of oxygen which are N field of the outside of OSF generated in the shape of a ring when thermal oxidation processing is carried out to the silicon single crystal wafer raised when a silicon single crystal was raised with the Czochralski method, and are detected by Cu deposition cannot produce easily does not exist.

[Claim 6] The manufacture approach of the silicon single crystal characterized by to control to the growth rate between the growth rate of the boundary where the defective field detected by Cu deposition which remains after OSF ring disappearance when a silicon single crystal is raised with the Czochralski method and the growth rate of the silicon single crystal under pull-up is dwindled disappears, and the growth rate of the boundary which nickel field which precipitation of oxygen cannot produce easily when a growth rate is dwindled further generates, and to raise a crystal.

[Claim 7] The manufacture approach of the silicon single crystal indicated in any 1 term of claim 3 characterized by making the pull-up rate at the time of said crystal growth into 0.5 or more mm/min thru/or claim 6.

---

[Translation done.]

## \* NOTICES \*

JPO and NCIPi are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. \*\*\*\* shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

---

## DETAILED DESCRIPTION

---

### [Detailed Description of the Invention]

#### [0001]

[Field of the Invention] This inventions are not V field which is mentioned later, an OSF field, and which defective field of an I region, either, and relate to the manufacture approach of the silicon single crystal wafer and silicon single crystal with the electrical property excellent in high pressure-proofing with which the oxide-film defect further detected by copper deposition processing is not formed, either.

#### [0002]

[Description of the Prior Art] In recent years, the quality demand to the silicon single crystal produced with the Czochralski method (it is hereafter written as a CZ process) used as the substrate has been increasing with detailed-sizing of the component accompanying high integration of a semiconductor circuit. The defect of a single crystal growth reason in which the oxide film proof-pressure property especially called grown-in (Grown-in) defects, such as FPD, LSTD, and COP, and the property of a device are worsened exists, and importance is attached to reduction of the consistency and size.

[0003] In explaining these defects, it explains being known generally about the factor which determines each concentration of the point defect of the hole mold first called the Vacancy (it may outline Vacancy and Following V) incorporated by the silicon single crystal, and the mold silicon point defect between grids called Interstitial-Si (it may outline Interstitial-Si and Following I) incorporated.

[0004] In a silicon single crystal, V fields are Vacancy, i.e., the crevice generated from lack of a silicon atom, and a field with many things like a hole. With an I region It is the thing of a field with many lumps of the rearrangement and the excessive silicon atom which are generated when a silicon atom exists too much. Between V field and an I region The neutral (it may outline Neutral and Following N) field without lack of an atom or an excess (few) will exist. And with [ even if said grown-in defects (FPD, LSTD, COP, etc.) occur when V and I are in a condition / \*\*\*\* / to the last, and it has the bias of some atoms ] saturation [ below ], it has turned out that it does not exist as a defect.

[0005] The concentration of both this point defect is decided from the pull-up rate (growth rate) of the crystal in a CZ process, and relation with the temperature gradient G near [ under crystal ] the solid-liquid interface. The defect called OSF (an oxidation induction stacking fault, Oxidation Induced Stacking Fault) near [ boundary ] V field and an I region When it sees in the cross section of the perpendicular direction to a crystal growth shaft, being distributed in the shape of a ring (it being hereafter called an OSF ring) is checked.

[0006] The defect of these crystal growth reason is acquired as a defective distribution map as shown in drawing 7 , when a crystal orientation changes a growth rate from a high speed to a low speed with CZ pull-up machine with which the temperature gradient G near the solid-liquid interface used the large structure in a furnace (hot zone: it may be called HZ) during the usual crystal.

[0007] And a classification of the defect of these crystal growth reason calls V field the field where grown-in defects by which it is considered as the void reason to which hole type point defects gathered when a growth rate is a high speed comparatively, the above before and after 0.6 mm/min and, such as FPD, LSTD, and COP, exist in high density throughout the direction of the diameter of a crystal, for example, and these defects exist (Rhine (A) of drawing 7 R > 7). Moreover, when a growth rate is 0.6 or less mm/min, the field where an OSF ring is generated from the circumference of a crystal, the defect of ratios of length to diameter (Large Dislocation: the cable address of the dislocation loop between grids, LSEPD, LFPD, etc.) considered to be dislocation loop reasons by the outside of this ring exists in a low consistency with the fall of a growth rate, and

these defects exist is called the I region (it may be called a ratio-of-length-to-diameter field). Furthermore, if a growth rate is made into a low speed below 0.4 mm/min order, an OSF ring will condense and disappear at the core of a wafer, and the whole surface will serve as an I region (Rhine (c) of drawing 7 ).

[0008] Moreover, the existence of the field where neither FPD of a hole reason, LSTD, COP nor LSEPD of a dislocation loop reason and LFPD exist called N field to the outside of an OSF ring is discovered in the middle of V field and an I region in recent years. It is reported that this field is the I region side which is not so rich as there is almost no precipitation of oxygen by being in the outside of an OSF ring when oxygen precipitation heat treatment is performed and the contrast of a deposit is checked by X-ray observation etc., and LSEPD and LFPD are formed (Rhine (B) of drawing 7 ).

[0009] Since these N fields existed aslant to growth shaft orientations by the usual approach when a growth rate is lowered, they existed only in the part in the wafer side. About this N field, it has recited that a parameter called V/G which is the ratio of a pull-up rate (V) and a crystal solid-liquid interface shaft-orientations temperature gradient (G) determines the total concentration of a point defect by the Voronkov theory (V. V. Voronkov, Journal of Crystal Growth, 59 (1982) 625-643). Only a crystal into which a core serves as an I region on the outskirts across N field in V field at a certain pull-up rate since it pulls up in a field, and the rate must be regularity and G has distribution in a field when it thinks from this was obtained.

[0010] Then, distribution of G within a field was improved, and when this N-field where that it is only slanting existed was pulled up lowering for example, the pull-up rate F gradually, the crystal with which N field spread all over width at a certain pull-up rate could be manufactured recently. Moreover, in order to expand the crystal of this whole surface N field in the die-length direction, if a pull-up rate when this N field spreads horizontally is maintained and pulled up, it can attain to some extent. Moreover, when adjusting the pull-up rate in consideration of G changing so that it might be amended and V/G might become fixed to the last as the crystal grew, as it is, the crystal used as a whole surface N field could be expanded also in the growth direction.

[0011] If this N field is classified further, there is a nickel field (field with much silicon between grids) contiguous to Nv field (field with many holes) contiguous to the outside of an OSF ring and an I region, and in Nv field, when thermal oxidation processing is carried out, there are many amounts of precipitation of oxygen, and it turns out that there is almost no precipitation of oxygen in nickel field.

[0012] However, as mentioned above, when thermal oxidation processing was carried out, in spite of having been a whole surface N field and having been the single crystal with which an OSF ring is not generated and FPD and ratio of length to diameter do not exist in the whole surface, it turned out that an oxide-film defect may occur remarkably. And this is the cause of degrading an electrical property like an oxide-film proof-pressure property, it is just inadequate that the conventional whole surface is N field, and the further improvement was desired.

[0013]

[Problem(s) to be Solved by the Invention] then, the thing by which this invention was made in view of such a trouble -- it is -- a hole -- rich V field, an OSF field, and the silicon between grids -- it belongs to neither of a rich I region, and aims at obtaining the silicon single crystal wafer by the CZ process which can raise electrical properties, such as oxide-film pressure-proofing, certainly under the stable manufacture condition.

[0014]

[Means for Solving the Problem] The silicon single crystal wafer which it succeeded in order that this invention might attain said purpose, and is applied to this invention is characterized by being that in which the defective field which is an N field of the outside of OSF generated in the shape of a ring, and is detected by Cu deposition does not exist, when the whole wafer surface carries out thermal oxidation processing in the silicon single crystal wafer raised by the Czochralski method ( claim 1 ).

[0015] Thus, the silicon single crystal wafer of this invention is a defect-free wafer with which the defective field which is an N field of the outside of OSF generated in the shape of a ring when the whole wafer surface carries out thermal oxidation processing, and is detected by especially Cu deposition does not exist, and turns into a silicon wafer of the high quality which does not degrade electrical properties, such as an oxide-film proof-pressure property, even if it produces a device.

[0016] And the silicon single crystal wafer which is the 2nd mode of this invention is characterized by being N field of the outside of OSF generated in the shape of a ring, when the whole wafer surface carries out thermal oxidation processing, and being that to which nickel field which the defective field and precipitation of oxygen

which are detected by Cu deposition cannot produce easily does not exist in the whole wafer surface in the silicon single crystal wafer raised by the Czochralski method (claim 2).

[0017] Thus, when the whole wafer surface carries out thermal oxidation processing, it is N field of the outside of OSF generated in the shape of a ring, nickel field which the defective field and precipitation of oxygen which are detected by especially Cu deposition cannot produce easily is the defect-free wafer which does not exist in the whole wafer surface, and gettering capacity is also high [ a wafer ] while it does not degrade electrical properties, such as an oxide-film proof-pressure property, even if the silicon single crystal wafer of this invention produces a device.

[0018] Next, the manufacture approach of the silicon single crystal concerning this invention is characterized by growing up a crystal in the defect-free field where the defective field which is an N field of the outside of OSF generated in the shape of a ring when thermal oxidation processing is carried out to the silicon single crystal wafer raised when a silicon single crystal was raised with the Czochralski method, and is detected by Cu deposition does not exist (claim 3).

[0019] And the manufacture approach of the silicon single crystal concerning this invention [ when raising a silicon single crystal with the Czochralski method ] The growth rate of the boundary where the defective field detected by Cu deposition which remains after OSF ring disappearance when the growth rate of the silicon single crystal under pull-up is dwindle disappears, When a growth rate is furthermore dwindle, it is characterized by controlling to the growth rate between the growth rates of the boundary which a grids transition loop formation generates, and raising a crystal (claim 4).

[0020] According to these manufacture approaches, when thermal oxidation processing is carried out to the raised silicon single crystal wafer, it is N field of the outside of OSF generated in the shape of a ring, and the defect-free silicon single crystal wafer with which the defective field which degrades electrical properties, such as oxide-film pressure-proofing detected by especially Cu deposition, does not exist can be manufactured.

[0021] the 2nd mode of the manufacture approach of the silicon single crystal which furthermore apply to this invention be characterize by to grow up a crystal in the field where nickel field which the defective field and the precipitation of oxygen which be N field of the outside of OSF generate in the shape of a ring when thermal oxidation processing be carry out to the silicon single crystal wafer raised when a silicon single crystal be raised with the Czochralski method , and be detect by Cu deposition cannot produce easily do not exist ( claim 5 ).

[0022] In addition, the manufacture approach of the silicon single crystal concerning this invention [ when raising a silicon single crystal with the Czochralski method ] The growth rate of the boundary where the defective field detected by Cu deposition which remains after OSF ring disappearance when the growth rate of the silicon single crystal under pull-up is dwindle disappears, When a growth rate is furthermore dwindle, it is characterized by controlling to the growth rate between the growth rates of the boundary which nickel field which precipitation of oxygen cannot produce easily generates, and raising a crystal (claim 6).

[0023] According to these manufacture approaches, when the whole wafer surface carries out thermal oxidation processing, it is N field of the outside of OSF generated in the shape of a ring, and nickel field which the defective field and precipitation of oxygen which are detected by Cu deposition cannot produce easily can manufacture the defect-free silicon single crystal wafer which does not exist in the whole wafer surface.

Therefore, oxide-film pressure-proofing and gettering capacity can obtain a good crystal.

[0024] In these manufacture approaches, it is desirable to make the pull-up rate at the time of crystal growth into 0.5 or more mm/min (claim 7). Thus, the manufacture margin of 0.5 or more mm/min then the defect-free field of this invention, especially the field in which an oxygen sludge layer is formed expands the pull-up rate at the time of crystal growth, and adequate supply becomes possible.

[0025] Hereafter, although explained to a detail per this invention, this invention is not limited to these. In advance of explanation, lessons is taken from each vocabulary, and it explains beforehand.

1) K2 Cr 2O7 after cutting down a wafer from the silicon single crystal rod after growth and etching and removing a surface distortion layer with the mixed liquor of fluoric acid and a nitric acid in FPD (Flow Pattern Defect) A pit and a ripple pattern arise by etching a front face with the mixed liquor of fluoric acid and water (Secco etching). This ripple pattern is called FPD, and the defects of oxide-film pressure-proofing increase in number, so that the FPD consistency within a wafer side is high (refer to JP,4-192345,A).

[0026] 2) When the same Secco etching as FPD is performed, call SEPD (Secco Etch Pit Defect) a thing without FPD, a call, and a flow pattern for the thing accompanied by a flow pattern (flow pattern) with SEPD.

When it is thought in this that large SEPD (LSEPD) 10 micrometers or more originates in a rearrangement cluster and a rearrangement cluster exists in a device, a current leaks through this rearrangement and it stops achieving the function as a P-N junction.

[0027] 3) Cut down a wafer from the silicon single crystal rod after growth, and carry out cleavage of the wafer to LSTD (Laser Scattering Tomography Defect) after etching and removing a surface distortion layer with the mixed liquor of fluoric acid and a nitric acid. Incidence of the infrared light can be carried out from this cleavage plane, and the defect scattering light which exists in a wafer can be detected by detecting the light which came out from the wafer front face. About the scatterer observed here, it is a society etc., there is already a report, and it is regarded as the oxygen sludge (Jpn.J.Appl.Phys. Vol.32, P3679, 1993 reference). Moreover, the result that it is the void (hole) of octahedron is also reported by the latest research.

[0028] 4) the defect which becomes the cause of degrading oxide film pressure-proofing of the core of a wafer, with COP (Crystal Originated Particle) -- it is -- Secco -- by SC-1 washing (washing by the mixed liquor of NH<sub>4</sub> OH:H<sub>2</sub>O<sub>2</sub>:H<sub>2</sub>O=1:1:10), the defect set to FPD if dirty works as a selection etching reagent, and is set to COP. The diameter of this pit is investigated with light scattering measurement by 1 micrometer or less.

[0029] 5) It is the defect which there are LSEPD, LFPD, etc. in ratio of length to diameter (Large Dislocation: cable address of the dislocation loop between grids), and is considered to be a dislocation loop reason. A large thing 10 micrometers or more is said that LSEPD described above also in SEPD. Moreover, also in FPD which LFPD described above, the magnitude of a tip pit says a large thing 10 micrometers or more, and it is considered the dislocation loop reason also here.

[0030] 6) The Cu deposition method measures the location of the defect of a semiconductor wafer correctly, raises the sensitiveness to the defect of a semiconductor wafer, measures it correctly also to a more detailed defect, and is an appraisal method of the wafer which can be analyzed.

[0031] The concrete evaluation approach of a wafer destroys the insulator layer on the defective part which was made to form the insulator layer of predetermined thickness and was formed near the front face of said wafer on the wafer front face, and deposits electrolysis matter, such as Cu, to a defective part (deposition). That is, the Cu deposition method is an appraisal method using a current flowing to the part to which the oxide film has deteriorated, and Cu ion serving as Cu and depositing in the liquid with which Cu ion is dissolved, if potential is impressed to the oxide film formed in the wafer front face. It is known that defects, such as COP, exist in the part by which an oxide film tends to deteriorate.

[0032] The defective part of the wafer by which Cu deposition was carried out can be analyzed on the bottom of a condensing LGT, or a direct target with the naked eye, can evaluate the distribution and consistency, and can also check microscope observation, a transmission electron microscope (TEM), or a scanning electron microscope (SEM) further.

[0033]

[Embodiment of the Invention] When this invention persons investigated in the detail about the boundary neighborhood of V field and an I region about the silicon single crystal growth by the CZ process, they found out neutral N field where the outside of an OSF ring has few FPD(s), LSTD(s), and COP remarkably, and ratio of length to diameter does not exist in it in the middle of V field and an I region, either. And if this N field is classified further, there is a nickel field (field with much silicon between grids) contiguous to Nv field (field with many holes) contiguous to the outside of an OSF ring and an I region, and in Nv field, when thermal oxidation processing is carried out, there are many amounts of precipitation of oxygen, and it has turned out that there is no precipitation of oxygen in nickel field.

[0034] However, even if it raised the crystal in the above-mentioned N field, there is what has bad oxide-film pressure-proofing, and the cause was not found well. Then, when this invention person etc. investigated in the detail further about N field by the Cu deposition method, he is N field of the outside of an OSF field, and discovered that a part of Nv field which the precipitation of oxygen after precipitation heat treatment tends to generate had the field which the defect detected by Cu deposition processing generates remarkably. And this traced that it was the cause of degrading an electrical property like an oxide-film proof-pressure property.

[0035] Then, if a field without the defective field which is an N field of the outside of this OSF and is detected by Cu deposition can be extended all over a wafer, while said various grown-in defects cannot be found, the wafer which can improve an oxide-film proof-pressure property etc. certainly will be obtained.

[0036] this invention person etc. conducted the following experiments, asked for a growth rate and the relation

of defective distribution, raised the single crystal rod based on the result, and evaluated the oxide-film proof-pressure property of a wafer.

(Experiment 1) MCZ shown in the equipment A of drawing 2 (a), and the equipment B of drawing 2 (b) -- law - among crystal pulling equipment (horizontal magnetic field impression), Equipment A charged 150kg of raw material polycrystalline silicon to the 24 inch quartz crucible, and Equipment B charged 160kg of raw material polycrystalline silicon to 26 inch quartz RUTSUPO, and it pulled up the silicon single crystal of the diameter of 8 inches (diameter of 200mm), and bearing <100> with each equipment. When pulling up a single crystal, it controlled to dwindle a tail from a crystal head in the range of 0.7 mm/min to 0.3 mm/min, applying a growth rate. Moreover, the single crystal was produced so that the oxygen density of a wafer might serve as 22 - 23ppma (ASTM'79 value).

[0037] And as shown in drawing 3 (a) and (b), it applied to the tail from the head of the crystal pulled up, vertical division cutting was carried out in the crystal orientation, and the four wafers sample was produced. Among four sheets, three sheets investigated the distribution situation of each field of V field, an OSF field, and an I region, the distribution situation of FPD and LEP, and the OSF generating situation by OSF heat treatment by WLT (wafer life time) measurement (measuring instrument: SEMILAB WT-85) and SEKOETCHINGU, and checked the growth rate of each field boundary. One in the sample which furthermore carried out vertical division cutting in the crystal orientation \*\*\*-omission-processes a wafer configuration with a diameter of 6 inches, as shown in drawing 3 (c), and it is 1. After mirror plane processing finishing, after \*\* formed the thermal oxidation film in the wafer front face, it performed Cu deposition processing and checked the distribution situation of an oxide film defect.

[0038] The evaluation procedure of the wafer in this experiment and detail of an evaluation result are given below.

(1) Vertical division cutting of the single crystal rod pulled up was carried out after block cutting in vertical crystal orientation at the die length for 10cm of every crystal orientation, and four samples of about 2mm thickness were produced.

(2) In the wafer heat treating furnace, 800 degrees C and 4-hour (under nitrogen-gas-atmosphere mind) heat treatment were performed after heat treatment to the bottom of nitrogen-gas-atmosphere mind, it cooled after that after 1000 degrees C and 16-hour (under dry oxygen ambient atmosphere) heat treatment, and the 1st in the above-mentioned sample created the map of wafer life time (WLT) by SEMILAB-85 for 620 degrees C and 2 hours (refer to drawing 4 (a) and (b)). Moreover, the 2nd sheet gave SEKOETCHINGU after mirror etching, and observed distribution of FPD and LEP. And the 3rd sheet, it removed the oxide film, and checked the distribution situation of OSF. [ after OSF heat treatment ] Each field of V field, an OSF field, and an I region was pinpointed from these results, and the growth rate of each boundary was investigated.

[0039] The growth rate (refer to drawing 4 (a)) of each boundary of the single crystal pulled up with Equipment A (drawing 2 (a)) was as follows.

V field / OSF field boundary: 0.484 mm/min OSF disappearance boundary: 0.472 mm/min Cu deposition defective disappearance boundary: 0.467 mm/min Non-depositing N(nickel) field / I region boundary: 0.454 mm/min, [0040] The growth rate (refer to drawing 4 (b)) of each boundary of the single crystal pulled up with Equipment B (drawing 2 (b)) is as follows.

V field / OSF field boundary: 0.596 mm/min OSF disappearance boundary: 0.587 mm/min Cu deposition defective disappearance boundary: 0.566 mm/min A deposit N(Nv) field / nickel field boundary: 0.526 mm/min nickel field / I region boundary : 0.510 mm/min, [0041] (3) the sample which carried out vertical division cutting in the crystal orientation of the single crystal rod of the above (1) -- inner -- \*\*\* omission processing (refer to drawing 3 (c)) of remaining one sheet was carried out to the wafer configuration with a diameter of 6 inches, Cu deposition processing after thermal oxidation film formation was performed to the wafer front face after mirror plane processing finishing, and the distribution situation of an oxide film defect was checked. The evaluation conditions are as follows.

1) Oxide film : 25nm 2 electrolysis reinforcement: For [ 6 MV/cm and 3 electrical-potential-difference impression time amount:] 5 minutes.

[0042] A Fig. is shown as a result of Cu deposition's estimating Nv field to drawing 5 . Drawing 5 (a) shows defective distribution of Nv field without the defect according [ (b) ] defective distribution of the defective field generated by Cu deposition to Cu deposition. Drawing 6 (a) is as a result of [ of Nv field which the defect

generated in Cu deposition ] evaluation, and (b) is as a result of [ of Nv field which a defect did not generate by Cu deposition ] evaluation.

[0043] It turns out that the defective field detected by Cu deposition which an oxide film defect tends to produce all over Nv field which precipitation of oxygen tends to produce from the above result among N fields which exist in an OSF outside exists. In this field, in spite of being Nv field, oxide-film pressure-proofing is not necessarily good. It turns out that a result which can be satisfied also with the same Nv field of oxide-film pressure-proofing in Nv field without the defective field detected by this Cu deposition on the other hand is brought.

[0044] (Experiment 2) Next, based on the above-mentioned result, using Equipment B ( drawing 2 (b)), it was N field of an OSF outside, it was processed into the wafer of mirror plane finishing from the crystal which controlled the growth rate and pulled up so that the field which does not include the field and nickel field which precipitation of oxygen cannot produce further easily which is not Cu deposition defective field (Dn field), either might be aimed at, and the oxide film proof pressure property was evaluated. In addition, the C-mode Measuring condition is as follows.

1) Oxide film : 25nm Two measuring electrode: The Lynn dope polish recon and 3 electrode-surface product:8mm<sup>2</sup> 4 judging current: 1 mA/cm<sup>2</sup>.

Consequently, oxide film proof-pressure level was 100% of rate of an excellent article.

[0045] this invention person etc. repeats examination wholeheartedly, after being based on the knowledge acquired in the above experiment, and he hits on an idea to this invention. The manufacture approach of the 1st silicon single crystal of this invention is characterized by growing up a crystal in the defect-free field where the defective field which is an N field of the outside of OSF generated in the shape of a ring when thermal oxidation processing is carried out to the raised silicon single crystal wafer, and is detected by Cu deposition does not exist.

[0046] It will control to the growth rate between the growth rate of the boundary where the defective field detected by Cu deposition which remains after OSF ring disappearance when this approach was explained based on drawing 1 and the growth rate of the silicon single crystal under pull-up is dwindled disappears, and the growth rate of the boundary which a grids transition loop formation generates when a growth rate is dwindled further, and a crystal will be raised.

[0047] The wafer cut down from the single crystal rod raised by the approach described above turns into a defect-free silicon single crystal wafer with which the defective field which is an N field of the outside of OSF generated in the shape of a ring when the whole wafer surface carries out thermal oxidation processing, and is detected by Cu deposition does not exist at all.

[0048] Next, when the 2nd manufacture approach carries out thermal oxidation processing to the raised silicon single crystal wafer, it is N field of the outside of OSF generated in the shape of a ring, and it is characterized by growing up a crystal in the field where nickel field which the defective field and precipitation of oxygen which are detected by Cu deposition cannot produce easily does not exist.

[0049] It will control to the growth rate between the growth rate of the boundary where the defective field detected by Cu deposition which remains after OSF ring disappearance when this approach was explained based on drawing 1 and the growth rate of the silicon single crystal under pull-up is dwindled disappears, and the growth rate of the boundary which nickel field which precipitation of oxygen cannot produce easily when a growth rate is dwindled further generates, and a crystal will be raised.

[0050] The wafer produced from the single crystal rod raised by this manufacture approach is N field of the outside of OSF generated in the shape of a ring, when the whole wafer surface carries out thermal oxidation processing, and nickel field which the defective field and precipitation of oxygen which are detected by Cu deposition cannot produce easily can use it as the defect-free silicon single crystal wafer which does not exist in the whole wafer surface.

[0051] Since this wafer is Nv field altogether, when it is heat-treated under nitrogen and a dry oxygen ambient atmosphere all over a defect-free field excluding nickel field which precipitation of oxygen cannot produce easily, an oxygen sludge layer is formed into bulk. Therefore, the silicon single crystal wafer produced from this field has the gettering capacity which oxide-film pressure-proofing etc. is not only good, but was excellent.

[0052] When producing this invention article furthermore, when using CZ pull-up equipment of quenching structure which can be raised with the growth rate of 0.5 or more mm/min, the defect-free field of this

invention, especially the field (Nv-Dn) in which an oxygen sludge layer is formed were able to expand more the silicon single crystal used as a raw material, and manufacture top stability was able to be maintained.

[0053] And the shaft-orientations temperature gradient Gc of the crystal solid-liquid interface in the crystal center section is small. Although it was not able to mass-produce easily since the growth rate margin of this invention article was less than 0.02 mm/min when it was CZ process pull-up equipment by which the growth rate of 0.5 mm/min is not exceeded at the time of defect-free field manufacture of this invention Gc was large, and in case it was defect-free field manufacture of this invention, when it was CZ process pull-up equipment which can attain the growth rate of 0.5 or more mm/min, the growth rate margin of this invention article is 0.02 or more mm/min, and was able to attain the maximum about 0.05 mm/min. When this invention article was especially manufactured with the growth rate of 0.5 or more mm/min as mentioned above, it turned out that the growth rate margin of the field where an oxygen sludge layer is formed into BARUGU after heat treatment in nitrogen and a dry oxygen ambient atmosphere can be expanded easily.

[0054] Drawing 2 (a) and (b) explain the example of a configuration of the crystal pulling equipment by the CZ process finally used by this invention. As shown in drawing 2 (a), this crystal pulling equipment 30 The pull-up room 31, the crucible 32 prepared all over the pull-up room 31, and the heater 34 arranged around a crucible 32. It has the reel style (not shown) which rotates or rolls round the crucible maintenance shaft 33 made to rotate a crucible 32 and its rolling mechanism (not shown), the seed chuck 6 holding the seed crystal of silicon, the wire 7 that pulls up a seed chuck 6, and a wire 7, and is constituted. A quartz crucible is prepared in the side in which a crucible 32 holds the silicon melt (molten bath) 2 of the inside, and the graphite crucible is prepared in the outside. Moreover, the heat insulator 35 is arranged around [ outside ] the heater 34.

[0055] Moreover, in order to set up the manufacture conditions in connection with the manufacture approach of this invention, the annular graphite cylinder (thermal insulation plate) 9 is formed. Moreover, what was shown in drawing 2 (b) has formed the annular outside heat insulator 10 in the periphery of the solid-liquid interface 4 of a crystal. This outside heat insulator 10 prepares spacing of 2-20cm between that lower limit and surface of hot water 3 of silicon melt 2, and is installed in it. Furthermore, coolant gas may be sprayed or the tubed cooling system which interrupts radiant heat and cools a single crystal may be formed. Independently, by installing the magnet which is not illustrated in the horizontal outside of the pull-up room 31, and impressing magnetic fields, such as a horizontal direction or a perpendicular direction, to silicon melt 2, the convection current of melt is controlled and, recently, the so-called MCZ method for measuring the stable growth of a single crystal is used in many cases.

[0056] Next, the single-crystal-growth approach by above crystal pulling equipment 30 is explained. First, within a crucible 32, the high grade polycrystal raw material of silicon is heated more than the melting point (about 1420-degreeC), and is dissolved. Next, the tip of seed crystal is made contacted or immersed in the surface abbreviation core of melt 2 by beginning to roll a wire 7. Then, while rotating the crucible maintenance shaft 33 in the proper direction, single crystal growth is started by rolling round rotating a wire 7 and pulling up seed crystal. Henceforth, the single crystal rod 1 of an approximate circle column configuration can be obtained by adjusting a pull-up rate and temperature appropriately.

[0057] In this case, in this invention, especially in order to attain the purpose of this invention, as shown in drawing 2 (a) or drawing 2 R>2 (b), in the periphery space of the liquefied part in the single crystal rod 1 on the surface of hot water of the pull-up room 31, it is important to have formed the annular graphite cylinder (thermal insulation plate) 9 and the outside heat insulator 10 so that the temperature region from the melting point of the crystal near the surface of hot water to 1400 degrees C could be controlled.

[0058] Namely, what is necessary is to form the outside heat insulator 10 in the pull-up room 31, and just to set spacing on this lower limit and the front face of melt as 2-20cm, in order to control whenever [ this furnace temperature ], for example, as shown in drawing 2 (b). If it carries out like this, whenever [ furnace temperature ] is also controllable so that the difference of the temperature gradient Gc of a crystal center part [\*\*/cm] and the temperature gradient germanium of a crystal circumference part becomes small, for example, the direction of the temperature gradient of the crystal circumference becomes lower than a crystal center. This outside heat insulator 10 is in the outside of the graphite cylinder 12, and has formed the heat insulation cylinder 11 also inside the graphite cylinder 12. Moreover, the graphite cylinder 12 top is connected with the metal cylinder 13, and a cooling dome 14 is on it, and it is pouring and carrying out forced cooling of the cooling medium.

[0059] When the silicon single crystal wafer which slices the silicon single crystal manufactured by the manufacture approach of the silicon single crystal described above, and is obtained carries out thermal oxidation processing to a wafer, it is a defect-free wafer with which the defective field which is an N field of the outside of OSF generated in the shape of a ring, and is detected by Cu deposition does not exist. Or when the whole wafer surface carries out thermal oxidation processing, it is N field of the outside of OSF generated in the shape of a ring, and nickel field which the defective field and precipitation of oxygen which are detected by Cu deposition cannot produce easily is the defect-free wafer which does not exist in the whole wafer surface.

[0060] In addition, this invention is not limited to the above-mentioned operation gestalt. The above-mentioned operation gestalt is instantiation, and no matter it may be what thing which has the same configuration substantially with the technical thought indicated by the claim of this invention, and does the same operation effectiveness so, it is included by the technical range of this invention.

[0061] For example, in the above-mentioned operation gestalt, although the example was given and explained per when a silicon single crystal with a diameter of 8 inches was raised, this invention is not limited to this but can be applied also to the diameter of 10-16 inches, or the silicon single crystal beyond it. Moreover, it cannot be overemphasized that this invention is applicable also to the so-called MCZ method for impressing a level magnetic field and length magnetic field, a cusp field, etc. to silicon melt.

[0062]

[Effect of the Invention] As explained above, according to this invention, it is not V field, an OSF field, and which defective field of an I region, either, and the silicon single crystal wafer with the electrical property excellent in high pressure-proofing with which the oxide-film defect further detected by Cu deposition processing is not formed, either can be supplied stably.

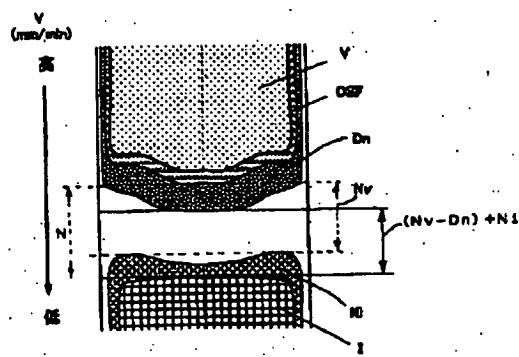
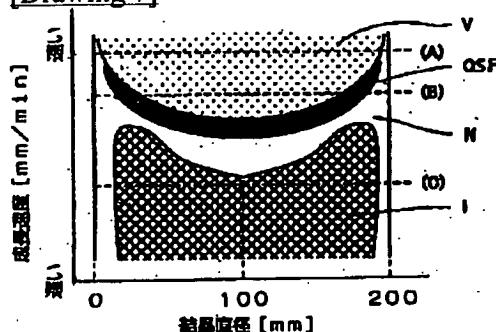
---

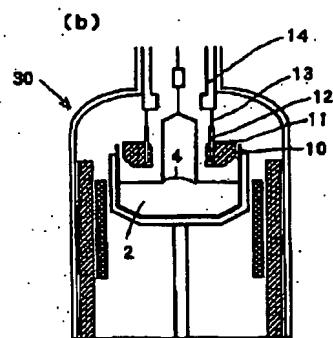
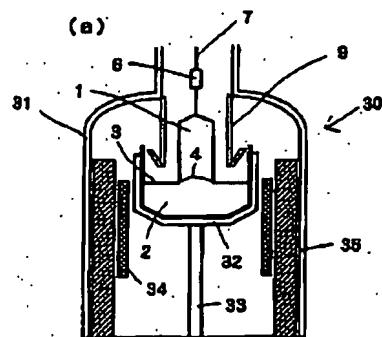
[Translation done.]

**\* NOTICES \***

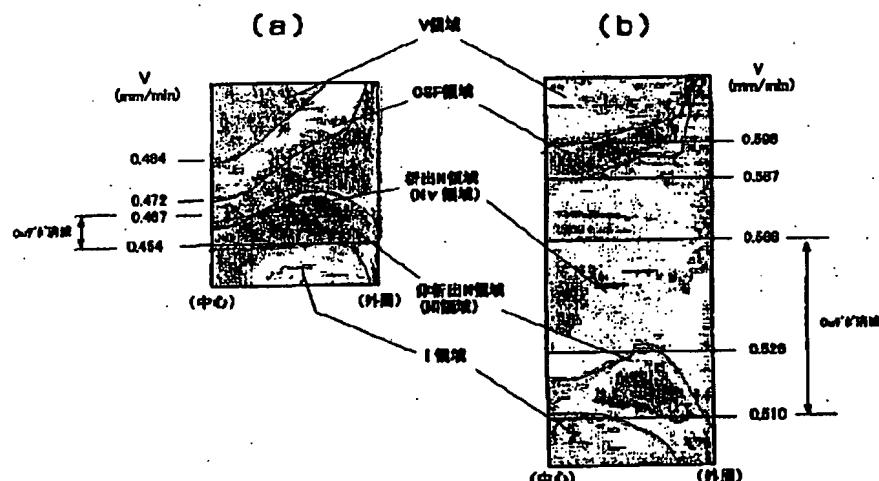
JPO and NCIPI are not responsible for any  
damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. \*\*\*\* shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

**DRAWINGS****[Drawing 1]****[Drawing 7]****[Drawing 2]**

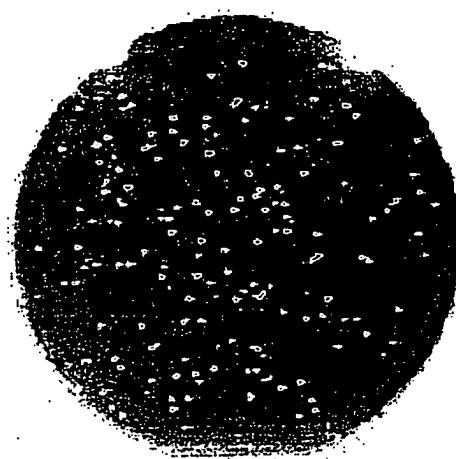


[Drawing 4]

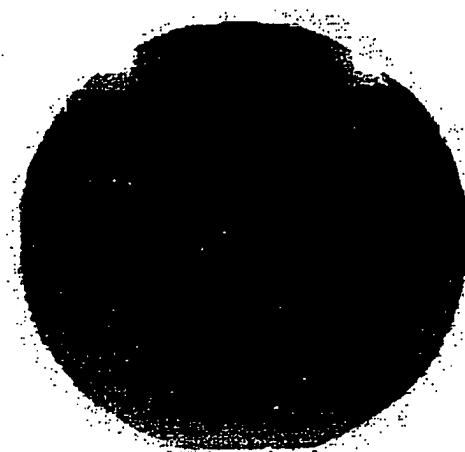


[Drawing 5]

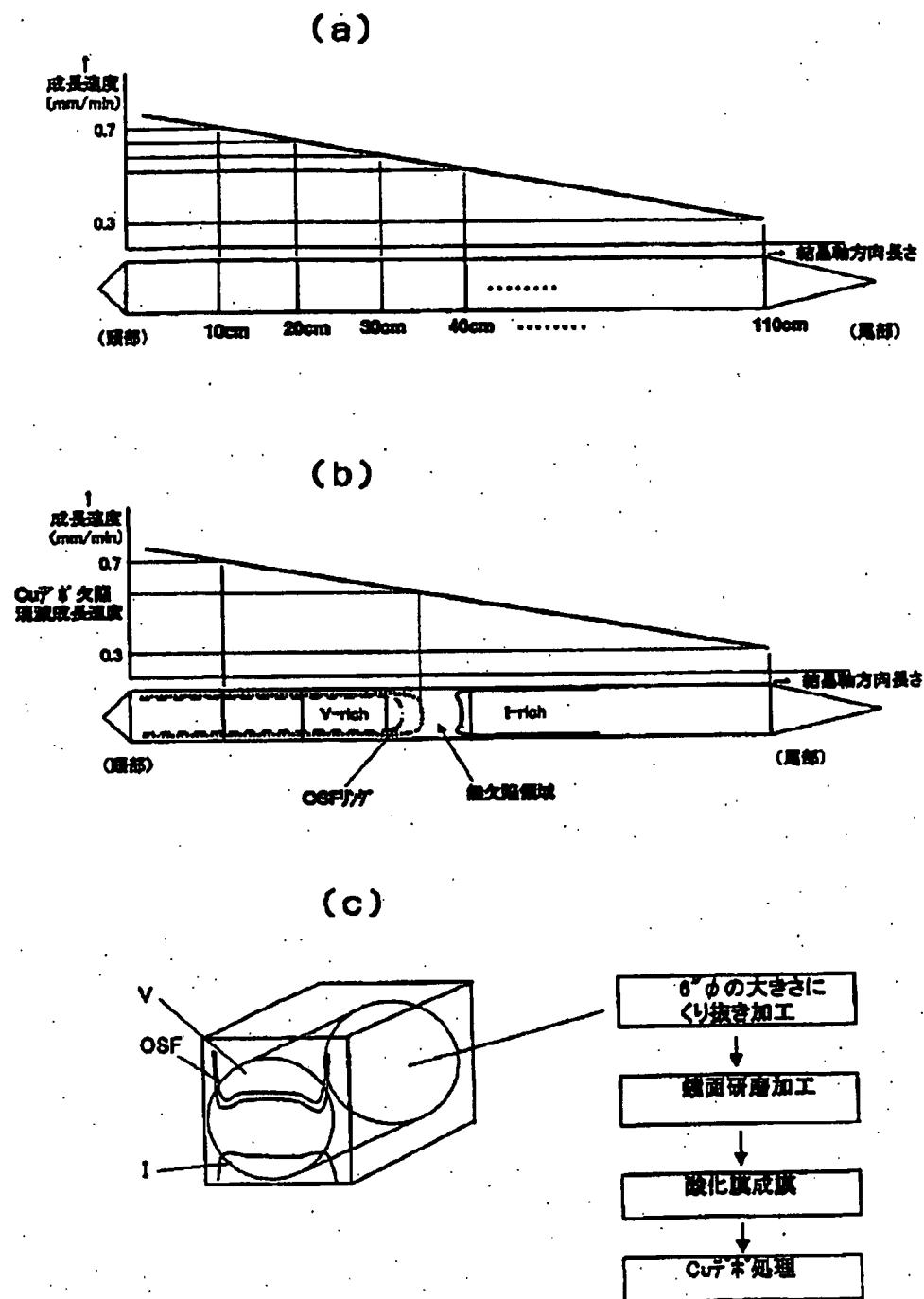
(a)



(b)

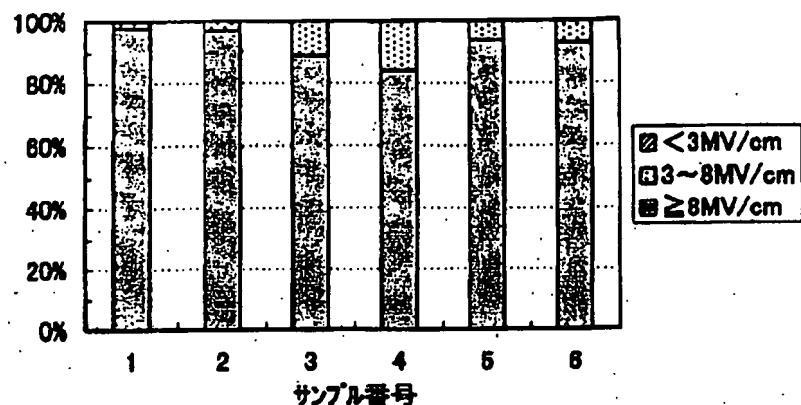


[Drawing 3]

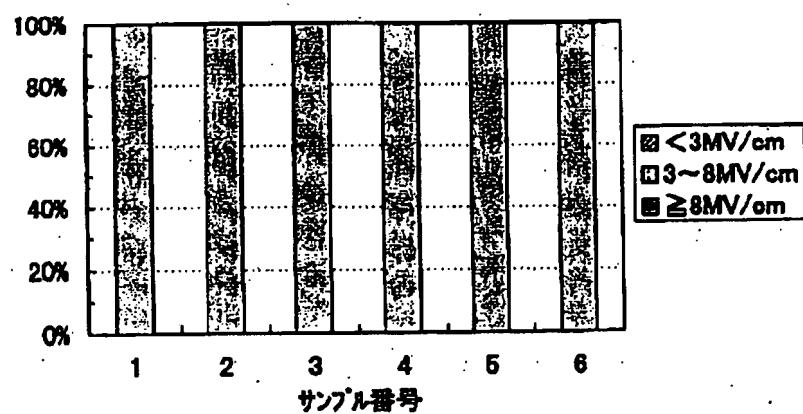


[Drawing 6]

(a)



(b)



---

[Translation done.]

\* NOTICES \*

JPO and NCIP are not responsible for any  
damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. \*\*\*\* shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

CORRECTION OR AMENDMENT

[Kind of official gazette] Printing of amendment by the convention of 2 of Article 17 of Patent Law

[Section partition] The 1st partition of the 3rd section

[Publication date] July 30, Heisei 15 (2003. 7.30)

[Publication No.] JP,2002-201093,A (P2002-201093A)

[Date of Publication] July 16, Heisei 14 (2002. 7.16)

[Annual volume number] Open patent official report 14-2011

[Application number] Application for patent 2000-403127 (P2000-403127)

[The 7th edition of International Patent Classification]

C30B 29/06 502  
H01L 21/208  
21/66

[FI]

C30B 29/06 502 J  
H01L 21/208 P  
21/66 N

[Procedure revision]

[Filing Date] April 25, Heisei 15 (2003. 4.25)

[Procedure amendment 1]

[Document to be Amended] Specification

[Item(s) to be Amended] Claim 4

[Method of Amendment] Modification

[Proposed Amendment]

[Claim 4] The manufacture approach of the silicon single crystal characterized by to control to the growth rate between the growth rate of the boundary where the defective field detected by Cu deposition which remains after OSF ring disappearance when a silicon single crystal is raised with the Czochralski method and the growth rate of the silicon single crystal under pull-up is dwindled disappears, and the growth rate of the boundary which the dislocation loop between grids generates when a growth rate is dwindled further, and to raise a crystal.

[Procedure amendment 2]

[Document to be Amended] Specification

[Item(s) to be Amended] 0010

[Method of Amendment] Modification

[Proposed Amendment]

[0010] Then, distribution of G within a field was improved, and when this N-field where that it is only slanting existed was pulled up lowering for example, the pull-up rate V gradually, the crystal with which N field spread all over width at a certain pull-up rate could be manufactured recently. Moreover, in order to expand the crystal of this whole surface N field in the die-length direction, if a pull-up rate when this N field spreads horizontally

is maintained and pulled up, it can attain to some extent. Moreover, when adjusting the pull-up rate in consideration of G changing so that it might be amended and V/G might become fixed to the last as the crystal grew, as it is, the crystal used as a whole surface N field could be expanded also in the growth direction.

[Procedure amendment 3]

[Document to be Amended] Specification

[Item(s) to be Amended] 0019

[Method of Amendment] Modification

[Proposed Amendment]

[0019] And the manufacture approach of the silicon single crystal concerning this invention, It is characterized by controlling to the growth rate between the growth rate of the boundary where the defective field detected by Cu deposition which remains after OSF ring disappearance when a silicon single crystal is raised with the Czochralski method and the growth rate of the silicon single crystal under pull-up is dwindled disappears, and the growth rate of the boundary which the dislocation loop between grids generates when a growth rate is dwindled further, and raising a crystal (claim 4).

[Procedure amendment 4]

[Document to be Amended] Specification

[Item(s) to be Amended] 0041

[Method of Amendment] Modification

[Proposed Amendment]

[0041] (3) the sample which carried out vertical division cutting in the crystal orientation of the single crystal rod of the above (1) -- inner -- \*\*\*\* omission processing (refer to drawing 3 (c)) of remaining one sheet was carried out to the wafer configuration with a diameter of 6 inches, Cu deposition processing after thermal oxidation film formation was performed to the wafer front face after mirror plane processing finishing, and the distribution situation of an oxide film defect was checked.

The evaluation conditions are as follows.

1) Oxide film : 25nm 2 field strength: 6 MV/cm,

3) Electrical-potential-difference impression time amount : for 5 minutes.

[Procedure amendment 5]

[Document to be Amended] Specification

[Item(s) to be Amended] 0046

[Method of Amendment] Modification

[Proposed Amendment]

[0046] It will control to the growth rate between the growth rate of the boundary where the defective field detected by Cu deposition which remains after OSF ring disappearance when this approach was explained based on drawing 1 and the growth rate of the silicon single crystal under pull-up is dwindled disappears, and the growth rate of the boundary which the dislocation loop between grids generates when a growth rate is dwindled further, and a crystal will be raised.

---

[Translation done.]